令 和　 8 年 度

契 第　　261 号

（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事設計書

大垣市　開発町　地内

大　垣　市

2

工事名称　（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事

仕　様　書

工事概要	・屋上防水を合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水にて全面改修するほか、外壁全面の劣化部を補修及び塗装改修を行う。 【屋上防水改修工事】　合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 【外壁改修工事】　外壁事前調査、外壁ｸﾗｯｸ補修・外壁欠損部補修、 外壁：防水形複層塗材E、EP-G塗装、外装薄塗材E ﾊﾞﾙｺﾆｰ：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水、　共用廊下・階段（溝・立上りのみ）：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水
工事場所	大垣市　開発町　地内

本工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」「公共建築工事標準仕様書(設備工事編)」「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)」「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」「建築物解体工事共通仕様書」「建築工事標準詳細図」「工事写真の撮り方」(いずれも最新版)を使用する。

Ⅰ．共通事項

週休二日の対応

・本工事における週休2日制工事の実施の指定については、下表のとおりとする。週休2日制工事については、「大垣市週休2日制工事要領」に基づき実施すること。

適　用	週休2日制工事の方式　又は　適用除外の理由
○	発注者指定型：週単位の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。　※完全週休2日を原則とする
	発注者指定型：月単位の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。　※完全週休2日を原則とする
	発注者指定型：通期の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。
	適用除外　：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第1号の規定による。
	適用除外　：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第2号の規定による。
	適用除外　：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第3号の規定による。
	適用除外　：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第4号の規定による。

・受注者は、「建設現場の週休2日」の普及及び浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。
・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く）

事前調査

・本工事施工前に現況調査を十分に行うこと。尚、不明な点は市監督員との協議による。
・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約グループに問い合わせすること。

下請負人の選定

・受注者は、下請負人を選定するとき又は資材等を調達するときは、「大垣市公契約条例」（平成28年3月24日　条例第4号、以下「公契約条例」という。）に基づき、市内事業者の積極的な活用に努めなければならない。

官公署等への手続

・工事の完成に必要な官公署等への手続は、費用を含め受注者の責任に於て行うこと。

関連工事の調整

・密接に関連する次の別途工事について、当該工事関係者と工事全体の円滑な施工に努めること。
別途工事：

文化財の保護

・本工事の施工範囲内における埋蔵文化財包蔵地の有無に関する事前調査結果は次のとおり。

埋蔵文化財包蔵地の有無	遺　跡　名	備　考
無		

遠隔臨場の実施

・本工事において、大垣市建設工事における遠隔臨場に関する試行の対象工事の適用の有無については、下表のとおり。

適　用	遠隔臨場の適用方式の有無	遠隔臨場・Web会議システムの利用期間
	発注者指定方式として実施する。	○○日間
○	受注者希望方式とする。（受注者が希望する場合は実施する）	

・「大垣市建設工事における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき実施するものとする。
・受注者希望方式は、工事契約後に発注者の承諾を得ること。

安全管理

・受注者は災害公害及び危険防止のため、関係法規の定めるところに従い充分な策を講じ施工すること。
尚、必要があれば適切に足場･仮囲い･養生等を行うこと。
・工事中発生した公害及び近隣よりの苦情に対しては、施工者の責任において対処する。
・工事中は必要に応じて交通誘導員を置き、他への安全に期する。
・車両の出入りに際しては、土落とし等の対策を行うなど、周辺道路の汚損等が無いような対策をとること。
汚損した場合は、直ちに清掃、修復を行うこと。

保険等

・第三者に損害を与えた場合及び工事目的物、工事材料に損害を被った場合の保証を目的とする損害保険、建設工事保険等に加入すること。
・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定による。
・受注者は、法定外の労災保険に付きなければならない。

使用材料工法

・使用材料の選定に当たっては、環境に優しい材料及びﾘｻｲｸﾙ商品（ｸﾞﾘｰﾝ購入法）、ｴｺﾏｰｸ製品の使用、環境負荷を軽減する工法を考慮すること。
・本工事に使用する建築材料等は、本図書に規定するもの又これらと同等のものとし、その場合は市監督員の承諾を受けること。

施工図等

・次の工事については、その施工前に施工図を提出し、市監督員の承諾を受けること。
・外壁改修工事（劣化調査図、劣化数量調査報告書等）

隠蔽部の検査

・埋戻し､ｺﾝｸﾘｰﾄ打設及び内外装の仕上げ等により工事部分が隠蔽となる部分については､市監督員の立ち会い・検査を受けること。また、立会い・検査が困難な場合は、承諾を受けた後、施工前・施工中・施工後を写真等で確認できるようにすること。

廃棄物の処分

・解体及び解体材の処分にあたっては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）（以下、「建設ﾘｻｲｸﾙ法」という。）に準じ、分別解体、再資源化を図ること。
また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和45年　法律第137号)により収集･運搬・最終処分等、担当責任者別に受託契約書を締結し、その写し、処分状況報告書(記録写真、処分書類等）及びCOBRISを提出すること。

石綿含有建材の調査

・本工事において、大気汚染防止法、石綿障害予防規則に基づく事前調査の実施の対象内外については、次のとおり。

適　用	項　　目
○	調査対象
	調査対象外　　※石綿等の粉塵が発散しないことが明らかであるため

1）事前調査
以下の項目について　⊙印の付いたものを適用する。
⊙書面調査
⊙目視調査（建築物の着工日が平成18年9月1日以降である場合を除く。）
・分析調査（書面調査及び目視調査により石綿含有の有無が把握できない場合。）
⊙調査済結果確認（令和8年5月調査）
⊙石綿含有建材　　【　防水ｼｰﾄ下地調整材　】
・石綿含有みなし建材【　　】
※石綿含有みなし建材として積算している建材については、分析調査の結果により石綿の含有が認められない場合は、契約金額の減額対象とする。
2）事前調査資格者
⊙調査者は以下のいずれかの資格を有する者とする。
①特定建築物石綿含有建材調査者
②一般建築物石綿含有建材調査者
③令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者
④一戸建て等石綿含有建材調査者（一戸建て住宅や共同住宅の住戸の内部のみ調査可能）
※石綿含有建材の種類が多岐に亘るような大規模建築物又は改修等を繰り返しており石綿含有建材の特定が難しい建築物については、特定建築物石綿含有建材調査者又は一定の実地経験を積んだ一般建築物石綿含有建材調査者が事前調査を行うこと。
3）事前調査報告
岐阜県知事及び所轄労働基準監督署長へ報告を行うこと。
4）特定粉じん排出等作業にかかる掲示
本工事が大気汚染防止法に規定する特定工事に該当するか否かについて、297mm×420mm以上の掲示板にて工事表示板と併せて掲示し、特定建築材料に関する事前調査結果等を記載すること。

化学物質の測定

・ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ及びVOCを発生させる又は含む材料をやむを得ず使用する場合は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄについてはF☆☆☆☆、その他VOCについては出来る限り低含有量のものを使用すること。また、施工前及び施工完了後に揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、文部科学省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
・測定項目：ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ、ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ
・測定箇所：ヶ所　　測定方法：試料採取方法、分析方法 ﾊﾟｯｼﾌﾞ型（24時間）とする

周辺家屋調査

・家屋調査は、用地調査等業務共通仕様書（岐阜県）を準用して実施すること。
・家屋調査は、次のいずれかの資格を有する者が行う。
①補償業務管理士（事業損失部門）
※（一社）日本補償コンサルタント協会の補償業務管理士研修及び検定試験実施規定第14条に基づく補償業務管理士登録台帳に登録されている者
②家屋調査業務に関し、7年以上の実務経験を有する者
③発注者が上記①、②の者と同等の知識及び能力を有する者と認めた者

再資源化

・建設ﾘｻｲｸﾙ法の規定が及ばない資材についても、同法の規定に準じて分別解体、再資源化に努めること。

引き渡し

・工事完成による引き渡しに当たっては、受注者は社内検査を行い、合格後、諸官公署、建築主の竣工検査を受け、必要書類、物品と共に引き渡し、その後の適正な運用に協力する。

品質確保

・受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

中間検査

・中間検査の実施は、「大垣市中間検査要綱」に基づき実施するもの。なお、中間検査は、給付の対象としない。

その他

・本工事は、大垣市ﾜﾝﾃﾞｰﾚｽﾎﾟﾝｽ実施要領に基づくﾜﾝﾃﾞｰﾚｽﾎﾟﾝｽ実施対象工事とする。
・工事表示板(900×1200　ﾄﾀﾝにｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼り)を設置すること。
・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。
・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。
・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。　※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要
・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。
・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。(受注者及び下請け含む)
・工事作業員の利用する駐車場は施設管理者及び監督員と協議すること。

Ⅱ．直接工事

仮設工事

・工事期間中は工事範囲を適切に区画すること。また必要に応じて解体材・資材等の運搬経路を養生すること。
・施工中、住民の施設利用を考慮した仮設計画を立てること。（通路確保）
・階段室出入口周り及び共用通路部の施工時は、適切に養生し、住民の動線を確保したうえで安全に配慮した仮設計画を立てること。
・工事車両の搬入、搬出の際には、周囲の安全に十分配慮すること。
・工事用水、工事電力は受注者の負担とする。
・外壁改修範囲は全て仮設足場を設置すること。
・年末年始の工事休止期間中は、南面足場の養生ｼｰﾄを手繰り寄せ足場に固定すること。
・入居者の利用する空調機は工事期間中も使用できるよう配慮すること。
・工事に伴い、既設照明を取り外した際は、仮設照明等を設置し、照度を確保すること。

解体工事

・解体工事はできる限り塵埃、騒音等の発生しにくい工法で施工すると共に、他の室への埃等の進入を防ぐために、養生を行うこと。また、解体により発生した廃材・ガラ等は、極力、リサイクルに努めること。

防水改修工事

・工事中は、入居者の安全に留意し、工事に起因する漏水等がないよう適切に養生すること。
・下地清掃（高圧水洗）等、飛散のおそれのある場合には十分に養生等を行うこと。
・工事完成後に防水の保証書(完成引渡し日から10年以上とする)を提出すること。
・防水工事に先立ち、下地清掃（高圧水洗）を十分に行うこと。
・既設防水層撤去部については、即日中に下地調整(仮防水)を行いｼｰﾄ養生すること。

（屋上）
・工法は改標仕(表3.5.2)SI-M2(合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　断熱機械的固定工法)とする。
但し、別記屋根伏図の庇部分及び階段室屋根は改標仕（表3.5.1）S-M2(合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　機械的固定工法)とする。
・立上り部分及び溝部分は改標仕（表3.5.1）S-F2（合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　接着工法）とする。
・合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水のｼｰﾄ厚は1.5mmとする。また、防水仕上材は高反射仕様とする。
・既設ｱﾝﾃﾅ架台及びﾊｯﾁ天端の平場及び下がり部分はｳﾚﾀﾝ塗膜防水X-2（密着工法）とする。
・断熱材は、改標仕(3.5.2 (3) (ｴ))よりJIS A 9521に基づく発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材とする。
但し、硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号の場合は透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする。厚みは25mmとする。

(ﾊﾞﾙｺﾆｰ・共用通路部・階段室)
・ﾊﾞﾙｺﾆｰの防水工法は、改標仕（表3.6.1）のｳﾚﾀﾝ塗膜防水X-2（密着工法）とする。
・共用通路部及び階段室（溝・立上りのみ）の防水工法は、改標仕（表3.6.1）のｳﾚﾀﾝ塗膜防水X-2（密着工法）とする。
・入居者の生活に支障をきたさないように行うこと。
（各戸入居者のﾊﾞﾙｺﾆｰ使用停止期間については、事前に監督員及び自治会長と協議を行い、使用停止期間が長期とならないよう努めること。）

(外壁ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え)
・打替え用のｼｰﾘﾝｸﾞ材は、ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（PU-2）とし、施工後、仕上塗材を塗付する。

外壁改修工事

・施工前に壁面調査を行い、補修部分をﾏｰｷﾝｸﾞし、監督員立会い確認後に作業を進めること。（施工箇所報告書を提出すること）
・壁面調査及びﾏｰｷﾝｸﾞは、建築仕上げ改修施工管理技術者又は建築仕上診断技術者（ﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｸﾀｰ（非構造））　の資格を有する者が行うこと。(壁面調査範囲は階段室内部を含む)
・既設PC版破損部分（剥落部分）は、取り除き、樹脂ﾓﾙﾀﾙで補修すること。
・下地調整は、改標仕 4.5.4 (4) より高圧水洗工法とする。(既存塗膜の浮き部除去)
・下地調整材は、改標仕 7.2.6よりｾﾒﾝﾄ系下地調整材仕上塗材C-1とする。（ｺﾃ塗り、刷毛塗り、浸透性防錆剤混入）
・外壁塗装は、改標仕 4.5.6(11)より防水形複層塗材Eとする。(外壁面はゆず肌仕上げ、基礎部は模様なしとする。)
・上裏部塗装は、改標仕 4.5.6(2)により外装薄塗材Eとする。(ゆず肌仕上げとする。)
・基礎部は、防水形複層塗材E塗布前にｱﾙｶﾘ性回復材を付与すること。
・ひび割れ部(巾 「0.2mm以上1.0mm未満)は、改標仕 4.2.5(2)(7)により自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法とする。
・ひび割れ部(巾 「0.2mm未満)は、改標仕 4.2.7によりｼｰﾙ工法とする。
・下塗材、主材および上塗材は、飛散防止のため吹付け工法は行わない。
・ﾓﾙﾀﾙ浮き部は、改標仕 4.3.11によりｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法とする。
・既存外壁塗装材にｱｽﾍﾞｽﾄは含まれない。
・外壁塗装色については、「令和6年度（補）和合団地　H、J棟外壁改修工事」と同色（日塗工　19-60C）とする。
※ｶﾗｰｻﾝﾌﾟﾙを作成し監督員の承諾を受けること。
・階段室内部の工事については、居住者への影響を考えて仮設設置から補修完了まで早急に行うこと。

塗装改修工事

(既存鉄鋼部)
・DP（耐候性塗料塗り）は、改標仕 表7.8.1による。上塗りは2級ｼﾘｺﾝとする。
・下地調整は、改標仕　表7.2.3によりRB種とする。
・錆止め塗料は、改標仕 表7.4.1によりEs種とし、種別は、改標仕 表7.4.3によりC種とする。
(未塗装既設VP配管等)
・DP（耐候性塗料塗り）は、改標仕　表7.8.3によりDP3級［ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗装］C-2種に準ずる。
(塗装済既設VP配管等)
・DP（耐候性塗料塗り）は、改標仕　表7.8.3によりDP3級［ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗装］C-1種に準ずる。
・汚れ付着物を除去し、研磨紙により既存塗膜面を研磨後、2回塗りを行う。
・錆鉄製ﾄﾞﾚﾝの塗装はﾉﾝﾀｰﾙ系変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗りとする。

外壁改修設計数量（劣化数量）

		想定数量	備考
①	ひび割れ(巾0.2mm未満)	33.7m	令和6年度H棟参考
②	ひび割れ(巾0.2mm以上1.0mm未満)	1.0m	令和6年度H棟参考
③	露筋・爆裂部　極小（50×50×10程度）	101箇所	令和6年度H棟参考
④	露筋・爆裂部　小（100×100×20程度）	12箇所	令和6年度H棟参考
⑤	露筋・爆裂部　中（200×100×30程度）	47箇所	令和6年度H棟参考
⑥	露筋・爆裂部　特大（1600×70×20程度）	1箇所	令和6年度H棟参考

工事種目	①	②	③	④	⑤	⑥	A	B	C
高圧水洗	○	○	○	○	○	○	○	○	○
はつり			○	○	○	○			
ｹﾚﾝ		○	○	○	○	○			
清掃	○	○	○	○	○	○			
ｱﾙｶﾘ回復材塗布									○
防錆処理			○	○	○	○			
ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法									
ｼｰﾘﾝｸﾞ工法	○								
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		○							
1液型ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布			○	○	○	○			
ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充填			○	○	○	○			
下地調整材(C-1ｾﾒﾝﾄﾌｨﾗｰ塗布) ※浸透性防錆材を混入 下塗材(ｴﾎﾟｷｼ系ｼｰﾗｰ塗布)	※A.B.Cによる。						○	○	○
防水形複層塗材Ｅ塗布	※A.B.Cによる。						○		○
外装薄塗材Ｅ塗布	※A.B.Cによる。							○	

A：一般外壁部
B：外壁上裏部
C：外壁基礎部

シーリング設計数量

既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去…2298.0m
外壁目地：ﾀﾃ　PU-2　20*10…297.0m、外壁目地：ﾖｺ　PU-2　20*10…790.0m
外壁化粧目地(新規)：ﾖｺ　PU-2　20*10…36.6m
外壁基礎取合：PU-2　20*10…110.0m
共用通路廻り：PU-2　20*10…290.0m
階段室廻り：PU-2　20*10…256.0m、PU-2　30*10…28.2m
ﾊﾞﾙｺﾆｰ廻り：PU-2　20*10…360.0m
ﾊﾞﾙｺﾆｰ床PCｼﾞｮｲﾝﾄ目地：PU-2　5*5…48.6m
建具廻り(PS扉廻り)：MS-2　15*10…81.6m
手摺支柱元：432箇所

壁面設備等改修仕様

【北面】
PS1：12箇所 W1,130×H1,060…DP塗装
手摺ﾊﾟﾈﾙ：25箇所 2.0m2/箇所…DP塗装
PS2：3箇所 W480×H1,960…DP塗装
玄関ﾄﾞｱ(枠共※見え掛かり部のみ)：27戸　2.0m2/戸…DP塗装
電気盤：16箇所 約0.6m2/箇所…DP塗装
竪樋：VP75φ　8箇所　74.1m…DP塗装
ﾋﾟｯﾄ建具：2箇所 W880×H1,060…DP塗装
共用廊下落口：中継ﾄﾞﾚﾝ75φ　22箇所…ﾉﾝﾀｰﾙ系変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗り
手摺ﾊﾟﾈﾙ(ｽﾛｰﾌﾟ部)：2箇所 4.5m2/箇所…DP塗装
手摺格子：27箇所…脱着
室外機：計4個…脱着

【南面】
ﾊﾞﾙｺﾆｰﾊﾟﾈﾙ：27箇所…洗浄
換気口：150φ　36箇所(2階・3階)…DP塗装
竪樋：VP75φ　8箇所　104m…DP塗装
ﾊﾞﾙｺﾆｰ落口：中継ﾄﾞﾚﾝ75φ　24箇所…ﾉﾝﾀｰﾙ系変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗り
室外機：計27個…ｼﾞｬｯｷｱｯﾌﾟ
隔て板：計18箇所…脱着

【西面】
棟名ｻｲﾝ：□600程度…DP塗装
外灯：H4.5m程度…DP塗装

【東面】
棟名ｻｲﾝ：□600程度…DP塗装
外灯：H4.5m程度…DP塗装
電気盤：1箇所 W600×H1,040…DP塗装

【階段室】
階段室竪樋：亜鉛ﾒｯｷ鋼管50φ　2箇所13.2m…DP塗装
階段室落口：中継ﾄﾞﾚﾝ50φ　4箇所…ﾉﾝﾀｰﾙ系変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗り

電気器具脱着設計数量

LED照明器具：10W相当（露出）…24台
照明器具：ｳｫｰﾙﾗｲﾄ　20W相当　… 2台
LED非常用照明器具（露出）　… 6台
3路ｽｲｯﾁ　…12個
4路ｽｲｯﾁ　… 4個

提　出　書　類　表

			項目
契約書類	着工時		★着工届
			★現場代理人・(専任)主任技術者・監理技術者補佐届・(専任／特例)監理技術者届 ※(専任)主任技術者・監理技術者補佐届は、資格要件のわかる書類添付　(経歴書または資格証の写し) ※(専任／特例)監理技術者は、監理技術者有資格者証の写しを添付 ※現場代理人届に、直接的な雇用関係がわかる書類を添付 ※各種技術者届に、直接3ヶ月以上の雇用関係がわかる書類を添付
			★工程表(ﾈｯﾄﾜｰｸと出来高予定を含む)　※契約後10日以内
			請負代金内訳書　　※発注者が指示した場合に限る　約款第3条
			各種工事保険証書の写し　※火災保険、建設工事保険　約款第58条
	完成時		★完成届
			★出来形届書　　※支払いがある場合にその都度
			★請求書
			完成写真(着工前・完成)　※ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰ付(完成写真の方に色付け、撤去部分：青、新設部分：赤)　写真撮影方向を示す図面添付
完成成果品書類	赤ファイル	1	完成図
		2	施工図
		3	保証書・取扱説明書　　※保証書の保証開始日は、引渡し日（完成検査合格日）
		4	現況調査報告書（現場着手前の周辺道路、水路、境界構造物、KBM等を調査し、現況写真を添付）
		5	家屋調査報告書（事前、事後）　※別ﾌｧｲﾙ可
	灰ファイル（補助工事は青ファイル）	1	完成写真（着工前・完成）　※ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰなし
		2	工事写真 ・工種別写真（着工前・中・完成）　・安全管理状況写真 ・標識･掲示写真（建設業許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、下請負人に対する通知、建退共制度事業主の現場標識、緊急時連絡票、作業主任者選任表示板、建基法による確認表示板、解体工事業者登録票、石綿事前調査結果、石綿使用した建築物の解体工事のお知らせ、再生資源利用促進計画書、工事表示板（W900*H1200）） ※全体および拡大写真
		3	工程表 ・全体工程表、実施工程表、月間工程表、週間工程表（休日、夜間作業届を兼ねる）
		4	施工計画書 ・総合施工計画書 ・工種別の施工計画書（施工要領書）
		5	施工体制関係書類 ・施工体制台帳　※県第18号様式　・主任（監理）技術者の資格要件を証明する書面、雇用を証明する書面 ・施工体系図　※県第19号様式　・契約書の写し（元請け、下請け全て） ・作業員名簿　※県第18-2号様式
		6	産業廃棄物関係書類　※廃棄物処理法施行令第6条の2 ・産業廃棄物処理委託契約書（写し）　・処理業者（収集･運搬･処分）の許可証（写） ・中間･最終処分場までの運搬経路図、写真　・産業廃棄物管理表（ﾏﾆｭﾌｪｽﾄE票）　※掲示のみ
		7	再生資源関係書類（COBRIS）　※請負代金100万円以上 ・再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書 ・再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書　※提示のみ
		8	出来形管理 ・月毎の工事履行報告書（出来形率、工程表、写真）　※補助工事または工期6ヶ月超の工事 ・工種別の出来形管理資料（出来形管理図、測定結果一覧表）
		9	品質管理 ・工種別の品質管理資料（品質管理図、基準値対比表、写真） ※建物位置・高さ、杭芯ズレ、基礎寸法、鉄筋外観、鉄骨建起し、内装墨位置等 ・工種別の試験結果報告書 ※コンクリート強度試験、鉄筋（鉄骨）超音波探傷試験、塗膜厚測定試験、VOC環境測定試験
		10	使用材料 ・材料承諾書（全ての材料） ※材料資料（メーカーカタログ、大臣認定書、JIS規格書、コンクリート配合計画書等） ※設計数量と計画数量の対比表 ・出荷証明書（メーカー出荷証明書、納品書、ミルシート等）
		11	打合せ記録 ・打合せ記録簿（定例会議、個別会議） ・設計図書の疑義による協議書および指示書
		12	安全管理・安全教育 ・道路使用許可等の関係機関の許可書の写し ・使用機械・工具・車両等の点検等、過積載防止の記録簿　※提示のみ ・安全教育実施報告書、安全巡視、TBM、KY等の実施記録、新規入場者教育の実施書　※提示のみ
		13	建設業退職金共済制度関係 ・建設業退職金共済制度掛金収納書 ・建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表　※提示のみ
		14	工事保険関係 ・火災保険、建設工事保険証券の写し（保険の範囲がわかる約款、カタログ等も添付）
		15	工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施活動 ・実施状況報告書　※実施した場合 ※工期短縮の工夫、品質向上の工夫、地域社会や住民に関する貢献等
		16	各種法令等に基づく書面関係 ・解体工事等に係る調査結果説明書　（大気汚染防止法第18条の15第1項） ・特定粉じん排出等作業結果報告書　（大気汚染防止法第18条の23第1項） ・休日取得計画工程表、休日取得実施書、週休2日制工事（現場閉所）報告書　等　（大垣市発注の週休2日制工事要領第4条） ・工事に必要な官公署等への届出書類
		17	その他 ・監督員通知書 ・工事検査報告書（社内検査、建築課検査） ・上述No.1～16以外の工事書類（提出書、報告書ほか）

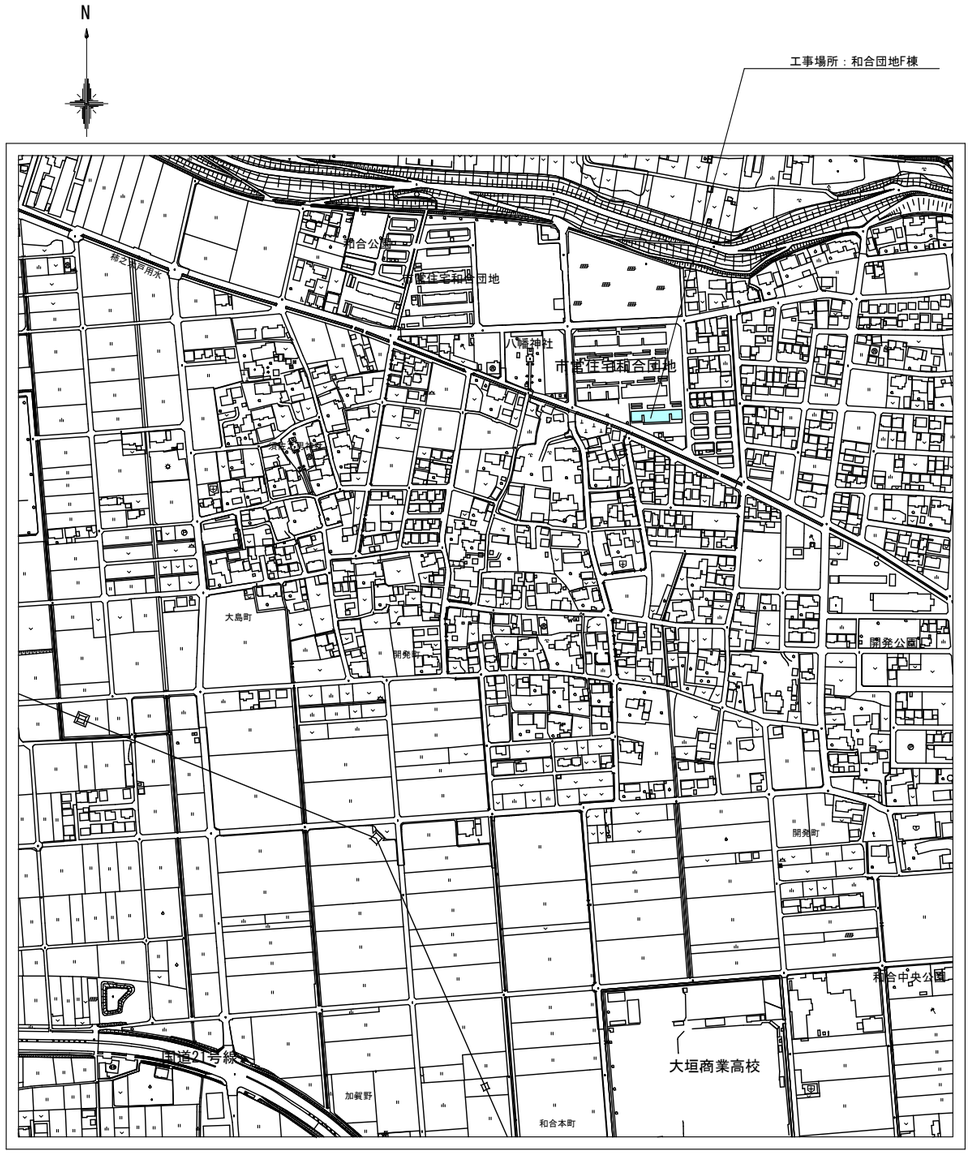
(1)上表の完成成果品書類欄の各書類は、原則、紙面で市指定の表紙（指示・承諾・協議・提出・報告書）を付して、2部（正・副）提出し、決裁された1部（正）を完成成果品とすること。
(2)完成成果品書類の電子データは、完成時にまとめてCD又はDVD（本体共）にて提出すること。
※CD・DVDは、完成成果品書類の赤ﾌｧｲﾙに、2穴付き不織布ｹｰｽ（ｻﾝﾜｻﾌﾟﾗｲ FCD-FRBD50W）で同梱すること。
※最新のパターンファイルを適用したウイルスソフトでスキャンしたものに限る。
(3)完成成果品書類は、背幅伸縮ﾌｧｲﾙ(ｺｸﾖ ﾌｰV90 ｻｲｽﾞ：A4-S)に上表の赤ファイル、青（灰）ファイル別に綴り、市指定の表紙を貼ること。
(4)完成成果品書類のファイルが5冊を超える場合は、市指定の収納箱に入れて提出すること。
(5)★印の書類は、https://www.city.ogaki.lg.jp/0000007329.htmlに掲載。

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和８年	（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事	提出書類表・外壁改修仕様	２／９

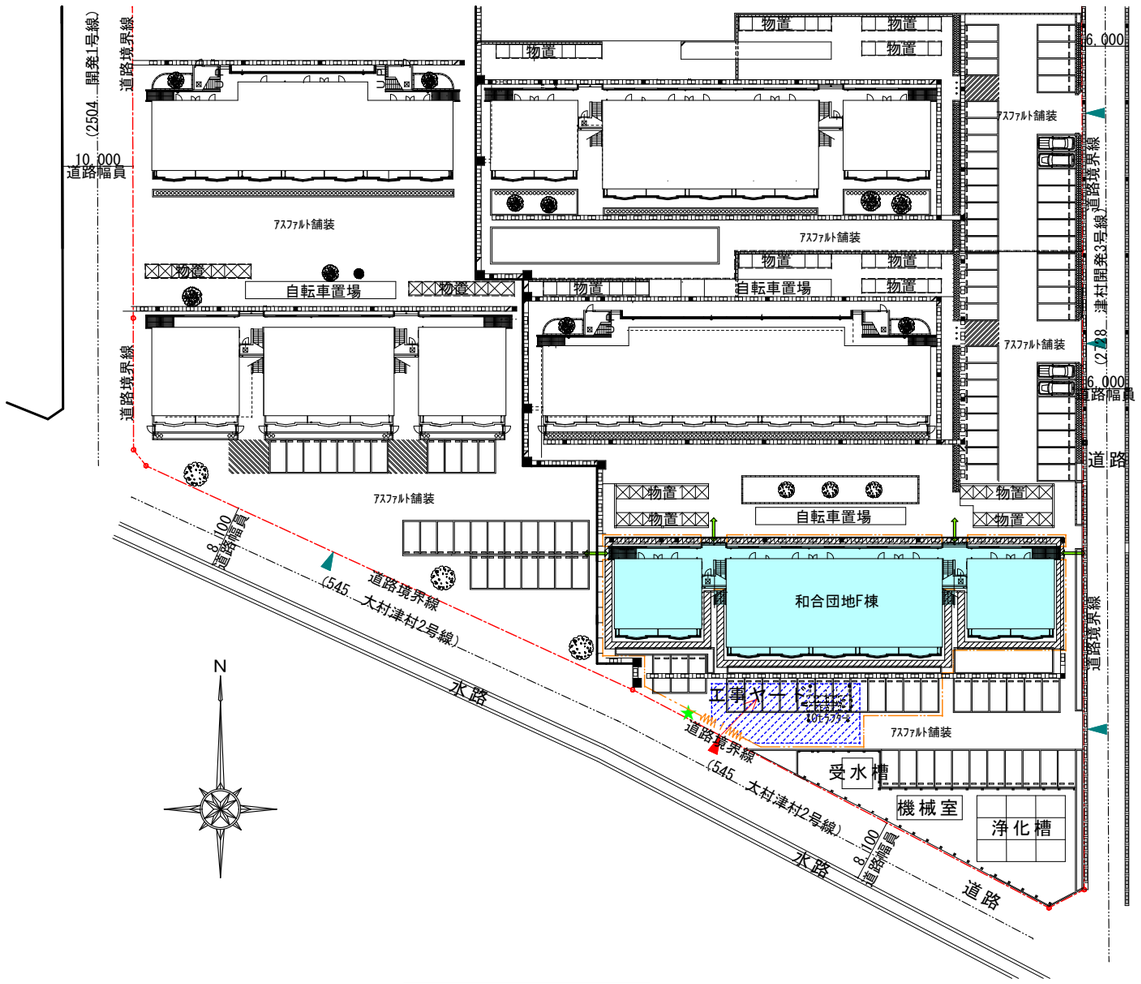
《 凡 例 》

	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ H=1.8m		本工事関係者出入口
	ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ H=1.8m W=6.0m		施設関係者出入口
	外部足場 W=900（ﾒｯｼｭｼｰﾄ垂直養生含む）		本工事関係者動線
	敷き鉄板養生		住民動線
	交通誘導員 80人工程度		

※工事ﾔｰﾄﾞは施設管理者と協議の上、計画すること。
※足場、ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ設置は、住民動線に配慮した計画とすること。
※工事による粉塵飛散が周辺駐車場等に支障がないように養生すること。
※工事完了後、施設駐車場等は現状復旧すること。

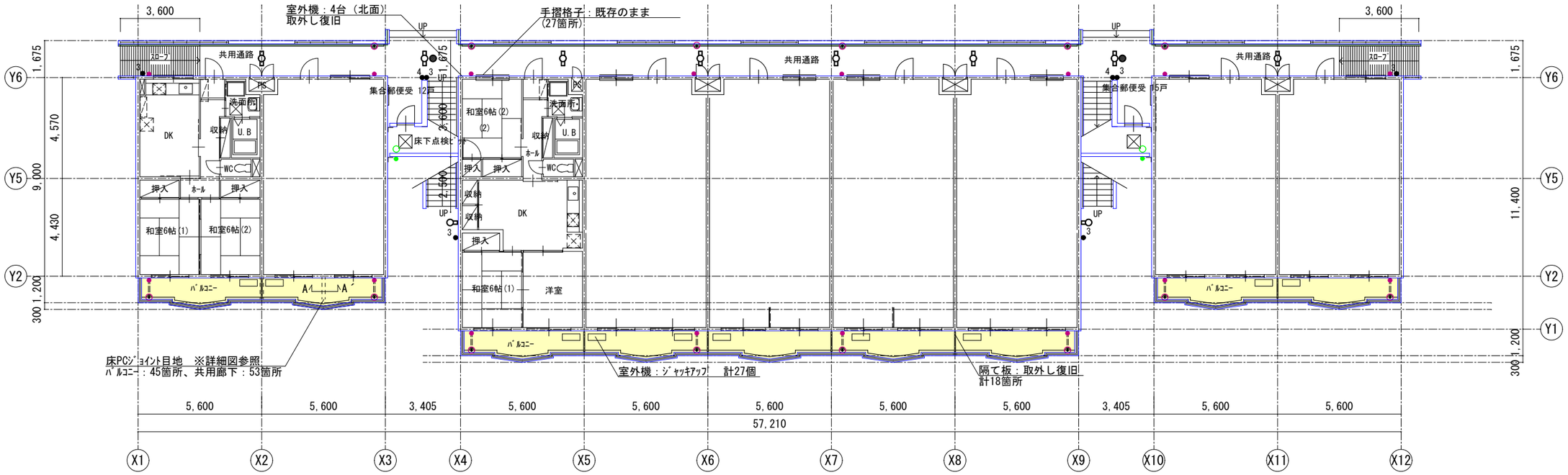


付近見取図　S＝FREE

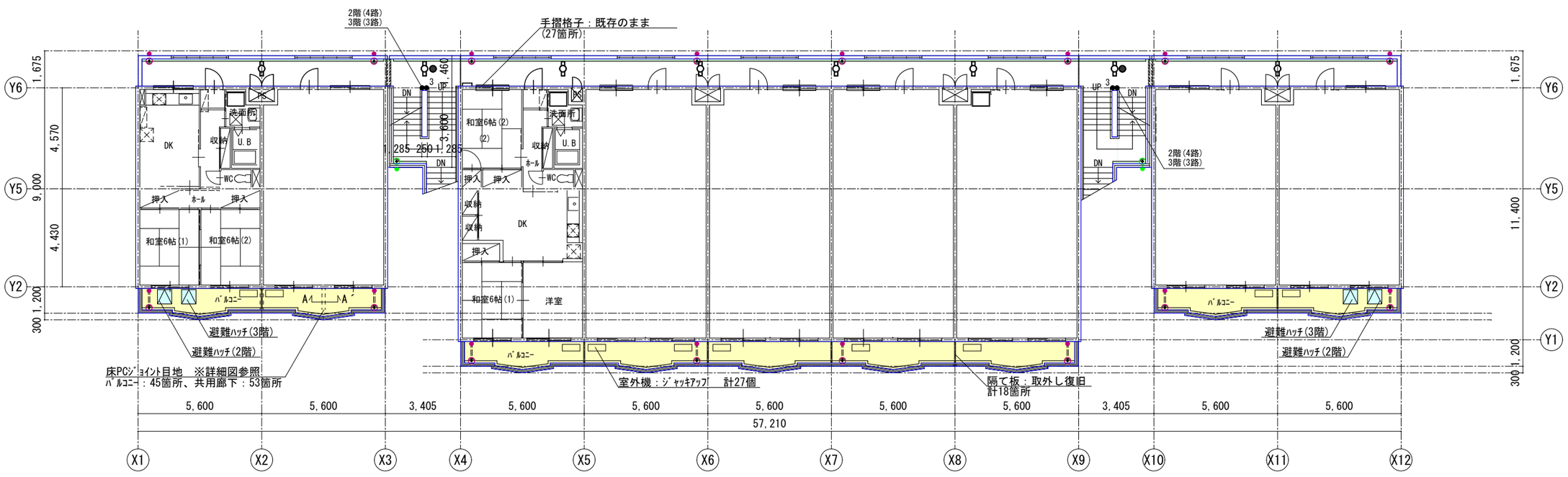


配置図　S＝1/800

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和８年	（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事	付近見取図・配置図	３／９



1階平面図　1/200

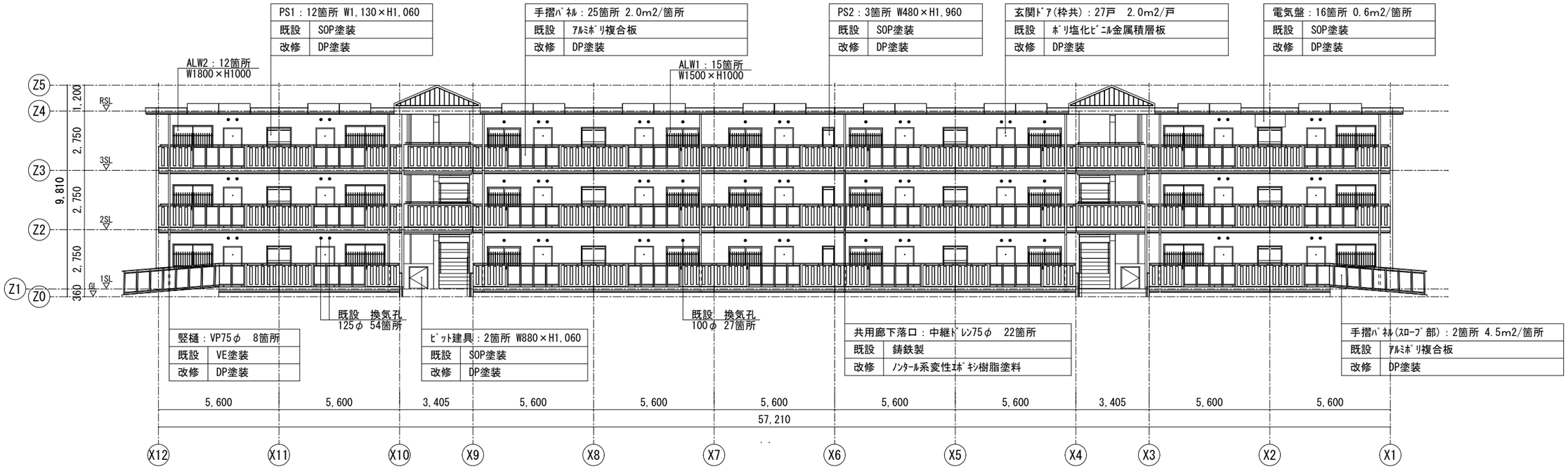


2、3階平面図　1/200

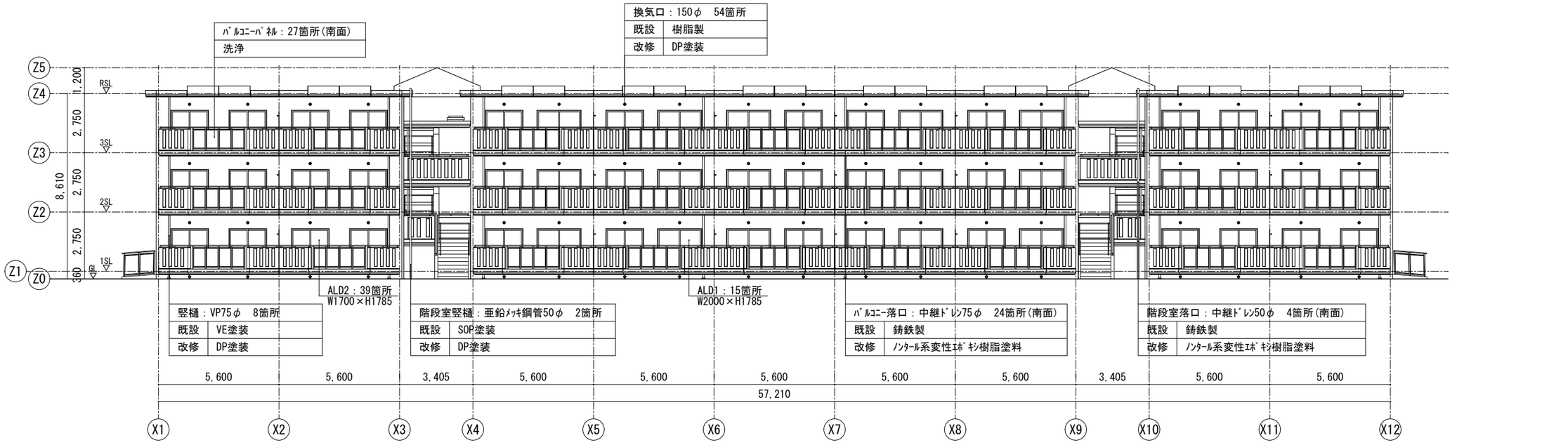
【凡例】

	外壁改修範囲を示す。			共用通路床・階段室床（溝・立上りのみ）			階段室竪樋：亜鉛ﾒｯｷ鋼管50φ　2箇所(南面)			竪樋：VP75φ　8箇所(北面)+8箇所(南面)		記号	仕様	工程	1階	2階	3階
—	既設	吹付ﾀｲﾙRE		既設	PC板素地	●	既設	SOP塗装	●	既設	VE塗装		LED照明器具10W相当（露出）	脱着	8台	8台	8台
	改修	防水型複層塗材E		改修	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)		改修	DP塗装		改修	DP塗装		ｳｫｰﾙﾗｲﾄ20W相当	脱着	2台	—	—
	避難ﾊｯﾁ：ｽﾃﾝﾚｽ製　□700 4箇所(南面)			ﾊﾞﾙｺﾆｰ床			階段室落口：中継ﾄﾞﾚﾝ50φ　4箇所(南面)			共用通路落口・ﾊﾞﾙｺﾆｰ落口：中継ﾄﾞﾚﾝ75φ　22箇所(北面)+24箇所(南面)		●	LED非常用照明器具（露出）	脱着	2台	2台	2台
	既設	周囲ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去 t=20（床面、上裏共）		既設	PC床板　防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え	○	既設	錆鉄製	○	既設	錆鉄製	3●	3路スイッチ	脱着	6個	2個	4個
	改修	周囲ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ打ち t=20（床面、上裏共）		改修	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)		改修	ﾉﾝﾀｰﾙ系変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗り		改修	ﾉﾝﾀｰﾙ系変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗り	4●	4路スイッチ	脱着	2個	2個	—

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和８年	（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事	平面図	４／９



北立面図 1/200



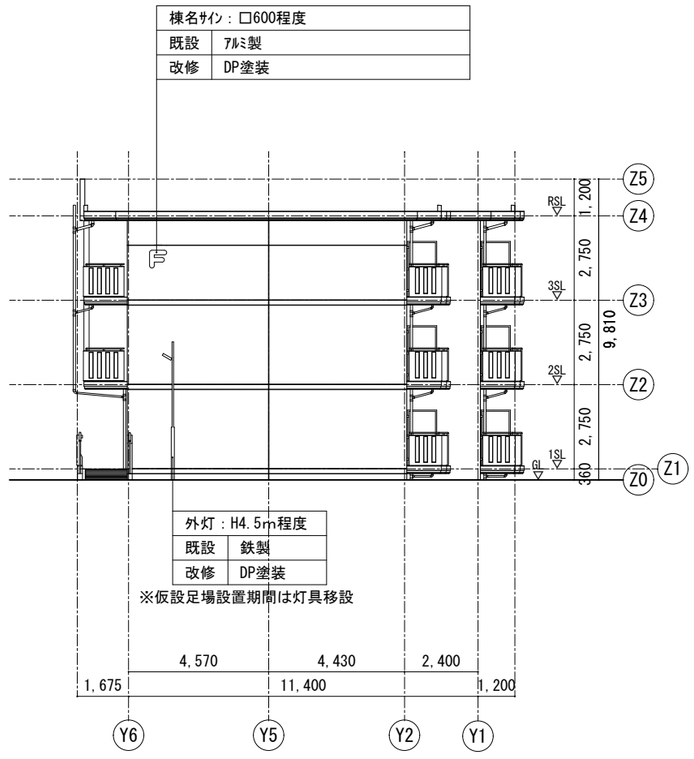
南立面図 1/200

【仕上表】

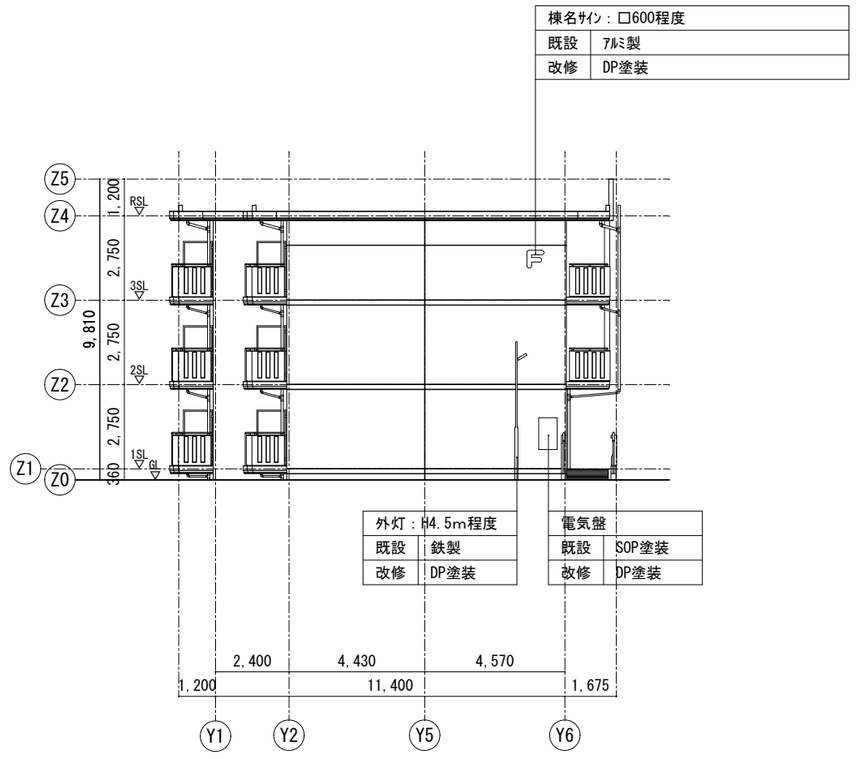
外壁		階段室外壁		庇		基礎	
既設	弾性ﾘｼﾝ吹付	既設	弾性ﾘｼﾝ吹付	既設	弾性ﾘｼﾝ吹付	既設	AE塗
改修	防水型複層塗材E	改修	防水型複層塗材E(見付共)	改修	上裏：外装薄塗材E、見付：防水型複層塗材E	改修	防水型複層塗材E(ｱﾙｶﾘ回復材塗布)

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和８年	（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事	立面図（1）	５／９

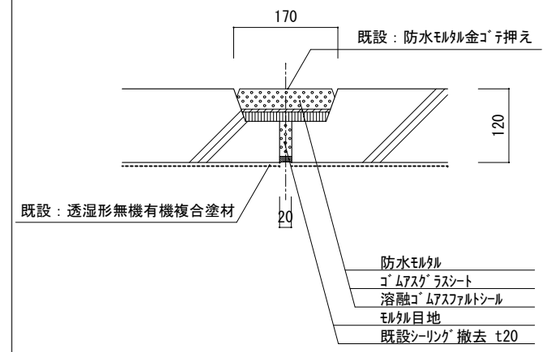
床PCｼﾞｮｲﾝﾄ目地詳細図　1/10



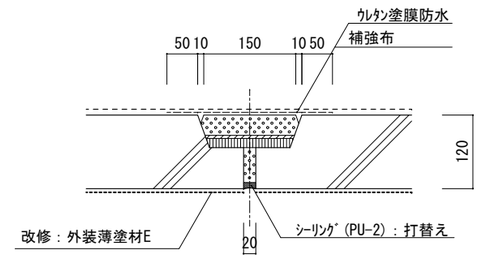
西立面図　1/200



東立面図　1/200



現況A-A´断面図



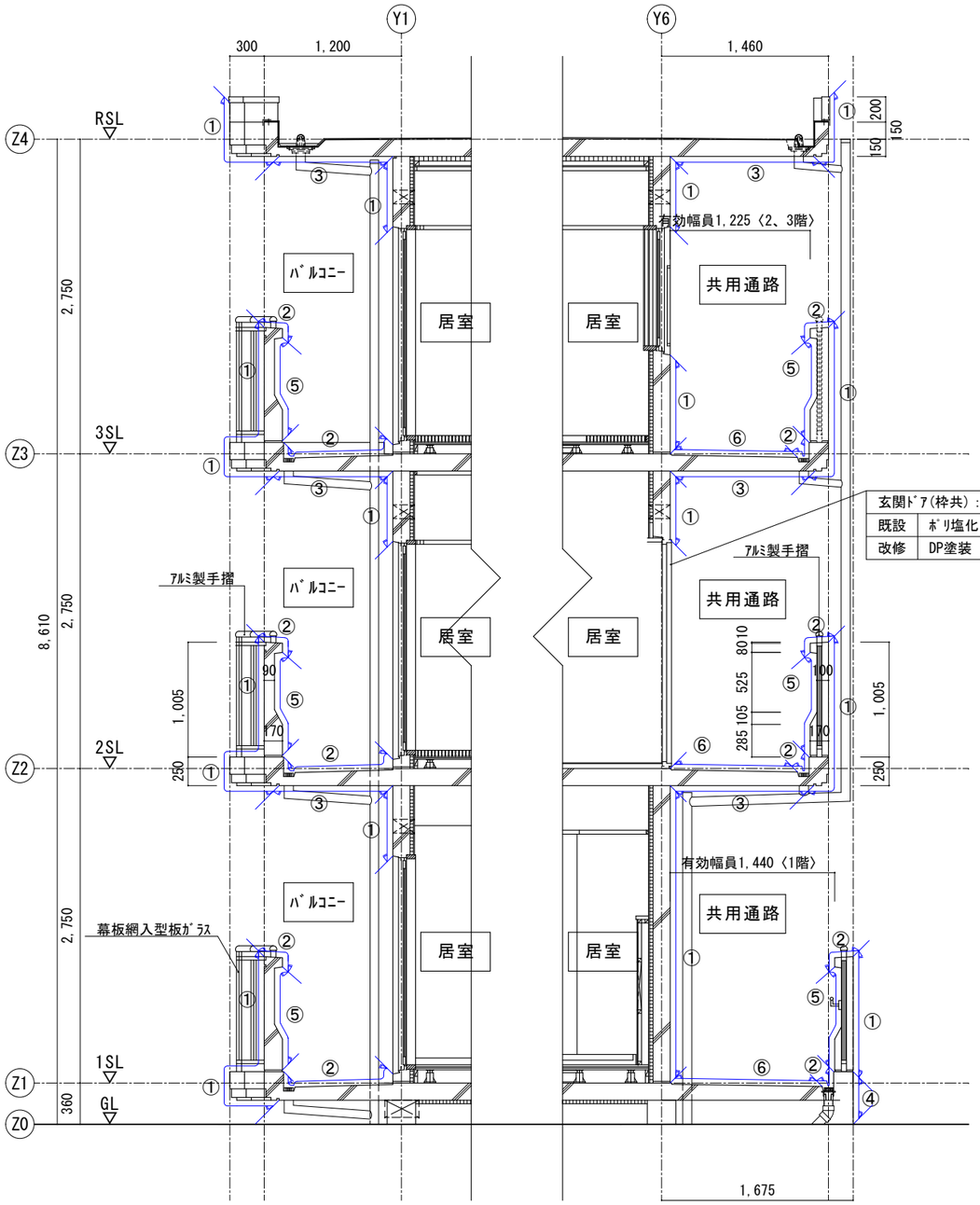
改修A-A´断面図

＜ﾊﾞﾙｺﾆｰ＞
・L1150mm程度…18箇所
・L1650mm程度…27箇所
＜共用廊下＞
・L1150mm程度…34箇所
・L1350mm程度…17箇所
・L3200mm程度（1F北階段部）
…2箇所
※共用廊下のｳﾚﾀﾝ塗膜防水は、補強布から50mm程度外側まで塗装するものとする。

【仕上表】

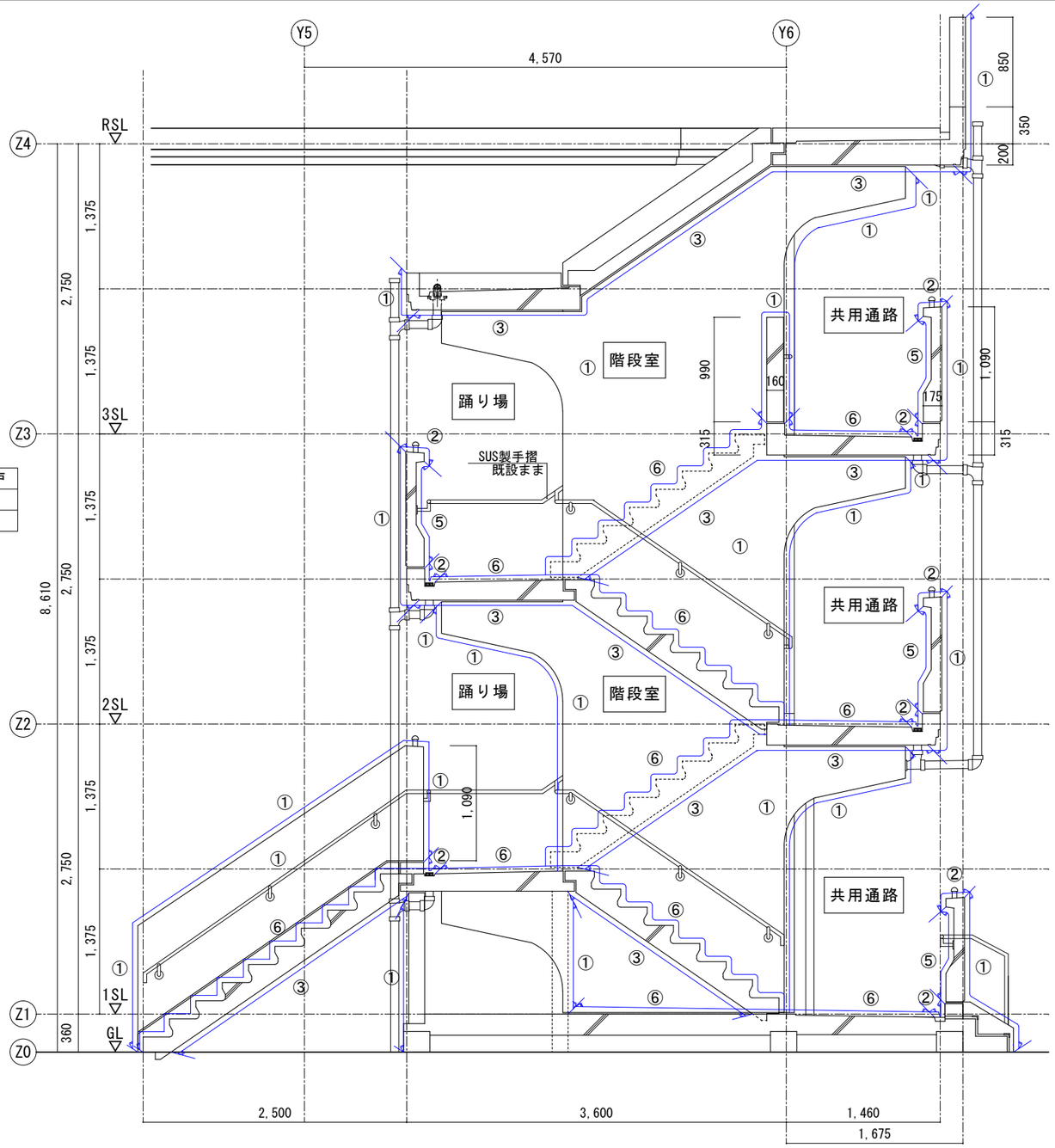
外壁		階段室外壁		庇		基礎	
既設	弾性ﾘｼﾝ吹付	既設	弾性ﾘｼﾝ吹付	既設	弾性ﾘｼﾝ吹付	既設	AE塗
改修	防水型複層塗材E	改修	防水型複層塗材E(見付共)	改修	上裏：外装薄塗材E、見付：防水型複層塗材E	改修	防水型複層塗材E(ｱﾙｶﾘ回復材塗布)

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和８年	（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事	立面図（2）・部分詳細図	６／９



玄関ﾄﾞｱ(枠共)：27戸　2.0m2/戸	
既設	ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ金属積層板
改修	DP塗装

ﾊﾞﾙｺﾆｰ・共用通路断面図　1/50

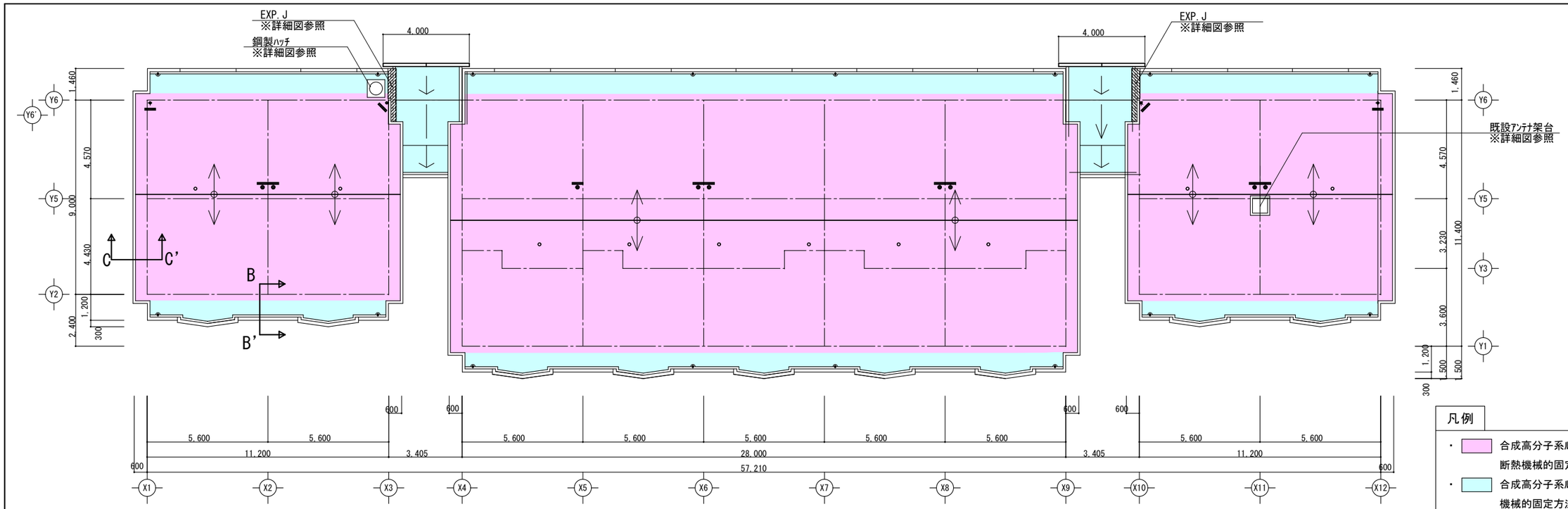


階段室断面図　1/50

凡　例

① ：塗装範囲(防水型複層塗材E)を示す。
② ：防水範囲(ｳﾚﾀﾝ塗膜防水)を示す。
③ ：塗装範囲(外装薄塗材E)を示す。
④ ：塗装範囲(防水型複層塗材E・ｱﾙｶﾘ回復材塗布)を示す。
⑤ ：塗装範囲(EP-G)を示す。
⑥ ：高圧洗浄のみの範囲を示す。

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和８年	（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事	ﾊﾞﾙｺﾆｰ・共用通路断面図　階段断面図	７／９

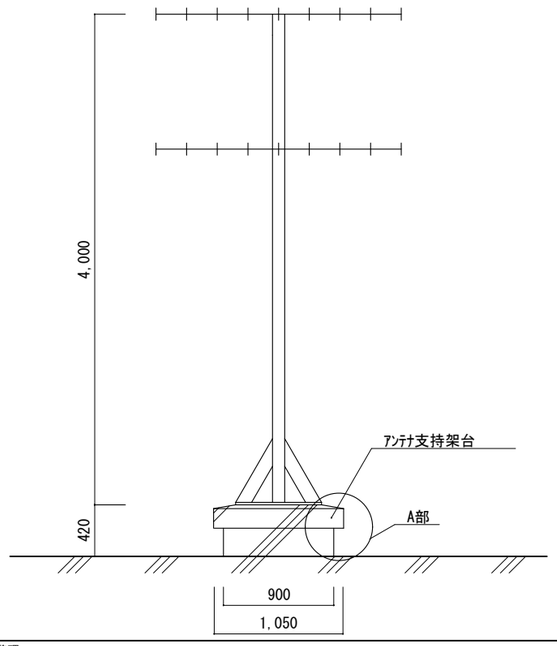


屋上平面図　1/200

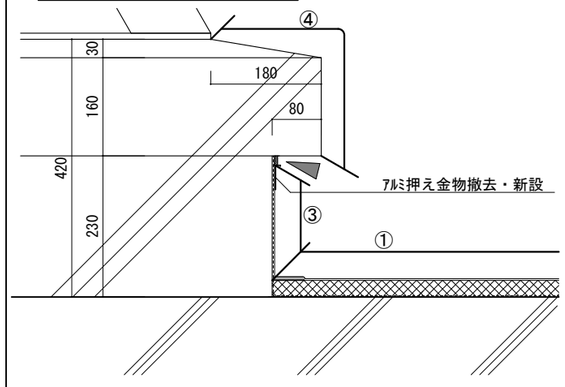
凡例

- 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 断熱機械的固定方法（高反射仕様）
- 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 機械的固定方法（高反射仕様）
- 立上り・溝部分：合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 接着工法（高反射仕様）
- ◎ 既設脱気筒撤去：10箇所
- SUS製脱気筒新設：11箇所（位置は監督員と協議）
- ⊕ 改修ﾄﾞﾚﾝ取替：φ75 16箇所　φ50 2箇所
- ● 既設通気管　▬ 既設通気管架台

既設ｱﾝﾃﾅ詳細図　1/50

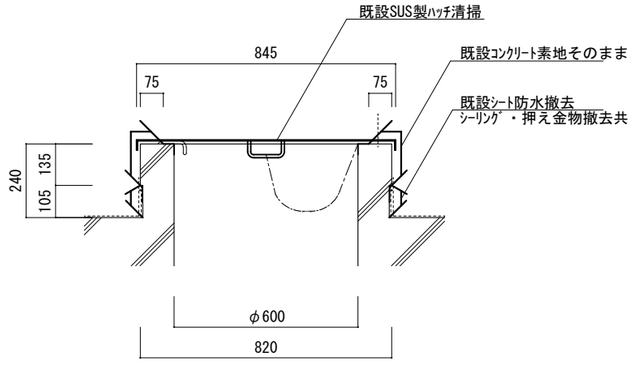


A部拡大図　1/10

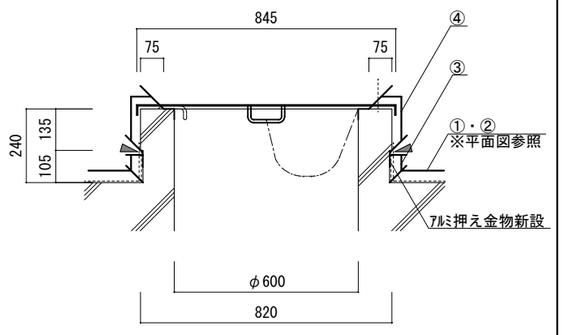


鋼製ﾊｯﾁ詳細図　1/20

改修前



改修後



【凡例】

防水改修

① 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　断熱機械的固定工法（高反射仕様）

② 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　機械的固定工法（高反射仕様）

③ 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　接着工法（高反射仕様）

④ ｳﾚﾀﾝ塗膜防水

▶ ：ｼｰﾘﾝｸﾞ打ち

【共通事項】

既設部と新設防水との取り合いは、ｼｰﾘﾝｸﾞで処理すること。

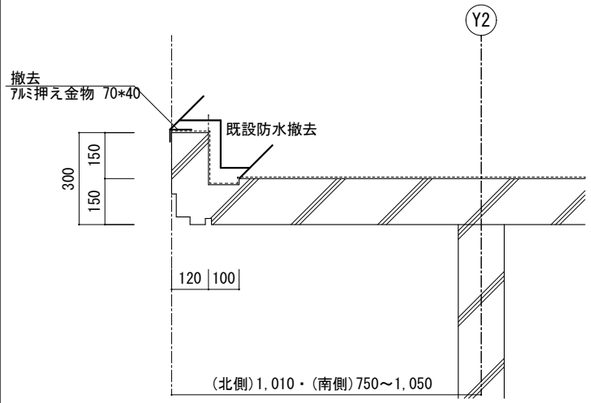
非撤去部の防水層の浮き部や損傷箇所等については、切開、ﾊﾞｰﾅｰ処理を行うこと。

下地の欠損部、支障のある浮き部については、ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ補修すること。

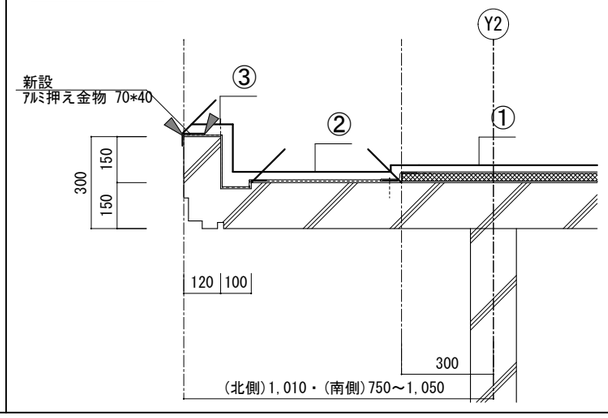
設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和８年	（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事	屋上伏図・部分詳細図（1）	８／９

B-B断面図　1/20

改修前

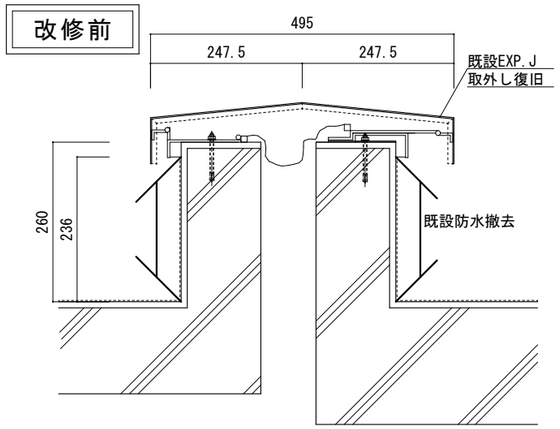


改修後　※Y1・Y6通りも同様とする。

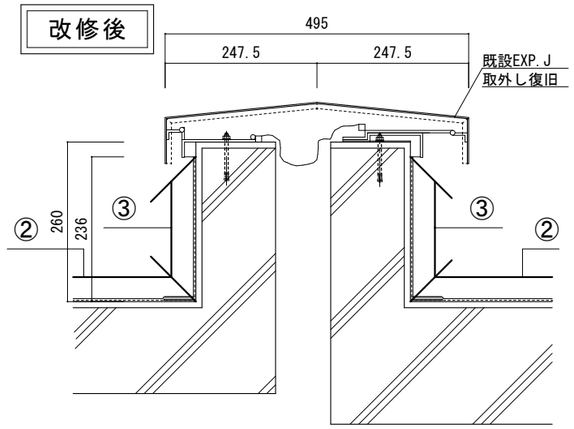


EXP.J詳細図（1）　1/10

改修前

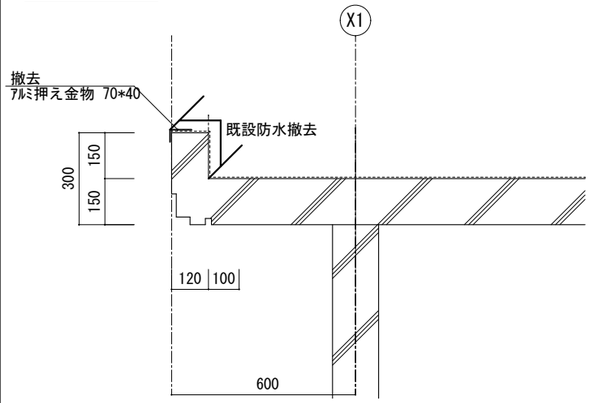


改修後

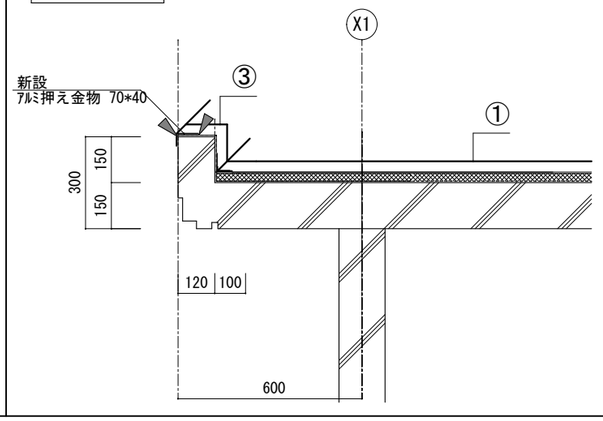


C-C断面図　1/20

改修前

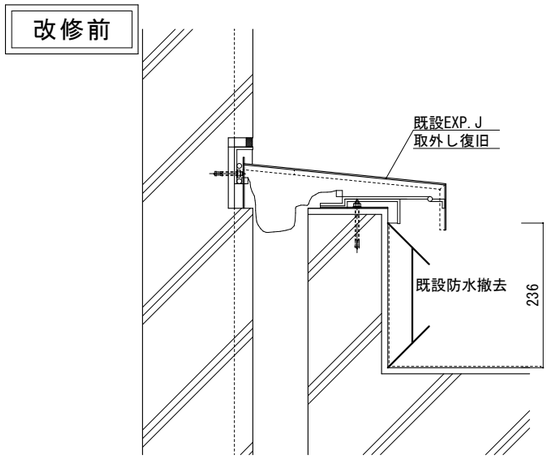


改修後　※X3・X4・X9・X10・X12通りも同様とする。

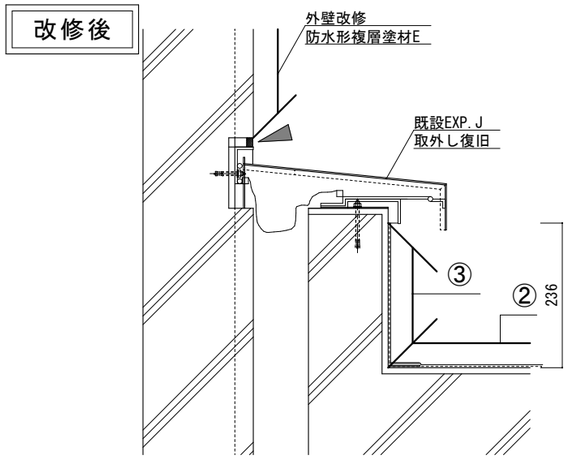


EXP.J詳細図（2）　1/10

改修前

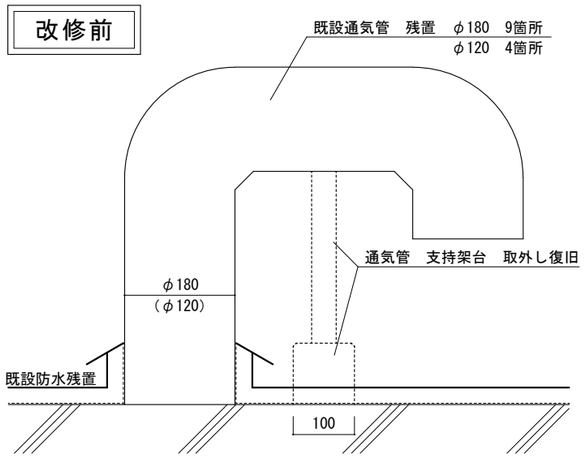


改修後

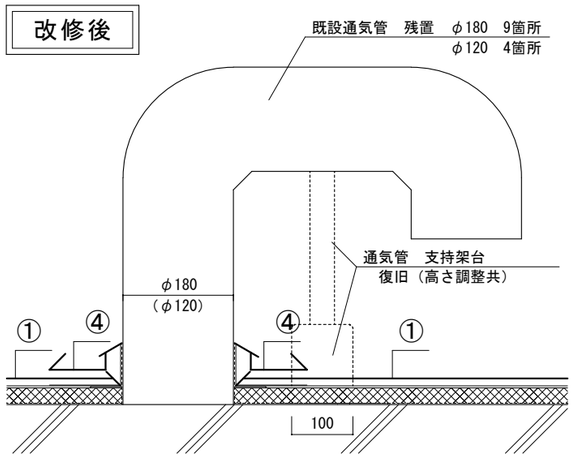


通気管詳細図　1/10

改修前



改修後



【凡例】

防水改修

① 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　断熱機械的固定工法（高反射仕様）

② 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　機械的固定工法（高反射仕様）

③ 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　接着工法（高反射仕様）

④ ｳﾚﾀﾝ塗膜防水

▶ ：ｼｰﾘﾝｸﾞ打ち

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和８年	（補）和合団地F棟　外壁・屋上防水改修工事	部分詳細図（2）	９／９